

令和7年度 浜松工業高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年11月1日(土) 午前9:00から11:00

2 場 所 浜松工業高校 応接室

3 参加者

役職	氏名	備考
会長	太田 一夫	元公立高校校長
副会長	大木 由美子	同窓会副会長
委員	吉澤 勝治	静岡大学教育学部 特任教授
委員	遠山 紗矢香	静岡大学情報学部 准教授
委員	中村 康弘	P T A会長
委員	大野木 龍太郎	初生町南自治会長
委員	石津 貴代	元保護者
校 長	野崎 真司	
副校長	平井 光裕	
全日制 教頭	秋月 竜也	
事務長	夏目 清美	

4 内 容 司会：副校長（協議の進行は会長）

(1) 校長挨拶

ア 本校職員について

イ 沙鹿工業高級中等学校の来校について

昨日は、半世紀の交流がある台湾の沙鹿工業高級中等学校の職員13名、生徒9名、計22名の来校があり、歓迎式の後に文化祭の開会式を行った。生徒たちも歓迎ムードで、大変盛り上がった。

ウ 学校の近況について

部活動では、陸上部やボクシング部が東海大会以上に出場するなど、どの部活動も大変頑張っている。3年生の進路状況については、就職において過去にない合格率を達成することができた。

(2) 議事①

ア 学校の近況および部活動の状況について（副校長・教頭）

《全日制》

2学期には体育大会や文化祭、修学旅行など、様々な学校行事があるが、生徒たちは皆、どの行事にも意欲的に取り組んでいる。部活動については、配付資料の部活動実績一覧（7月～10月）及び新聞記事に詳しく掲載しているので、そちらを参照していただきたい。

《定時制》

どの生徒も落ち着いた学校生活を送っている。部活動については、囲碁で全国大会

に出場する生徒が出るなど、定時制の部活動でも優秀な実績を上げている。

イ 文化祭について（教頭）

各科の見応えのある展示など、生徒たちは皆、元気に一生懸命取り組んでいるので、その様子をご覧いただきたい。

(3) 校内（文化祭）見学

※ 機械科、電気科、土木科、システム化学科、デザイン科等の展示を見学。

(4) 議事②

ア 意見交換（文化祭の感想など）

委員A：令和の時代の文化祭、という印象を持った。基礎学力を十分に生かして取り組んでいる様子が見られた。

委員B：工業高校の良さが出ている。校内見学では一部分しか見られなかったなので、この後に回って、STEAM教育の実践状況について確認したい。

委員C：展示が充実している。生徒が生き生きと展示に取り組んでいて良い。探究的な取り組みがなされている。

委員D：洗練された内容で、展示が工夫されている。生徒たちの将来につながる内容となっている。

委員E：物づくりの楽しさが伝わってくる。文化祭のように学習成果をアウトプットする自由な場があることは大事なことである。

委員F：展示室の場所が案内図だけでは分かりにくいので、案内係を置くようにした方が良いのではないか。

委員G：日頃の学びが展示に生かされている。今回の反省点を来年度の改善に生かしていけば、生徒の成長に繋げることができる。

委員G：高校でも部活動は縮小傾向にあるが、浜工はどのようにしていく予定か。

野崎校長：教育長からの通知では、「部活動については任意加入を原則とすること」とあるが、「ただし、各学校での実態を踏まえて判断すること」との一文もある。本校では、人間関係の構築や社会性・責任感の育成、心身の成長などメリットもあるため、当面は全員加入の形を継続していきたい。

委員G：中学校では、部活動顧問に就きたくない、という若手教員が増えていると聞くが、高校はどのような状況か。

野崎校長：高校でも部活動顧問の配置に苦慮している。

イ 連絡事項

- ・12月17日（水）に、SSH成果報告発表会が、アクトシティ浜松で実施される予定。
- ・2月12日（木）に、第3回学校運営協議会が実施される予定。